

# 令和3年度 土浦日本大学高等学校通信制課程自己評価結果

## 令和4年度 取組目標とその方策

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育活動 (教務)	一人ひとりの生徒に即した学習指導	一人ひとりの生徒に合わせた学習指導，ICTを活用した学習を提供する。レポート提出期限の遵守，スクーリングへの出席を促し，スムーズに単位が認定できるように指導する。また，日本大学基礎学力到達度テストに向けた学習，模試を実施する。校外学習を実施し，協調性等を身に付ける機会とする。	年間を通して実施していく。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教科指導 (教務)	新学習指導要領の実施と旧学習指導要領における指導の両立	新学習指導要領の施行に伴い，学年間での選択科目が混在することになるため，生徒の単位修得に向けた科目選択に細心の周囲を払い指導する。また，年度途中で転籍，転入する生徒についても同様に指導する。ICTを活かした授業，学習指導を展開していく。	年間を通して実施していく。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
学校生活への 配慮 (生徒指導)	①挨拶の励行	生活の基本はまずはあいさつをすることであると意識させる。我々教員側もあいさつをしっかりと行い生徒の手本となってもらわなければならない。	年間を通して実施していく。
	②生徒一人ひとりの状況把握	生徒一人ひとりの生活・心理状態を把握し，生徒指導を行う。特に心因的な課題は教職員全員が共通理解をして支援していく。	年間を通して実施していく。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
進路指導	生徒一人ひとりに合った進路指導	生徒，保護者の希望に応じた進路指導を行う。日本大学付属推薦については，情報提供をするとともに，学部学科の説明，出張講義への参加，基礎学力到達度テストの対策など細部までサポートできるようにする。	年間を通して実施していく。
	③調査書，推薦書等の適切な指導・対応	志望理由書作成，面接の指導を実施して入試対策を行う。新課程では，調査書の記載事項などにも変化が見られるので，その対策も講じていく。	年間を通して実施していく。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
教育相談	教育相談できる体制	全日制課程の教育相談部主任と連携し，教育相談がスムーズにできる体制を構築する。カウンセラーとの仲介など適宜対応ができるようにする。	年間を通して実施していく。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
いじめ防止対策	いじめの未然防止・早期発見・適切な対応・再発防止・教職員の共通理解	全日制課程で示されている「いじめ防止基本方針」を理解し，いじめ根絶を目指す。教職員から「いじめの未然防止」を促し，生徒や保護者からの情報提供がもらえるような関係を構築する。また，早期発見，適切な対応，再発防止など必要に応じて，全日制課程のいじめ防止対策室と連携を図り対処する。	年間を通して実施していく。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
広報 (情報入試)	知名度を上げる	通信制課程の広報活動を全日制課程の情報入試部とも連携し，協力をいただく。ホームページを更新する機会を増やし，情報発信をする。また，相談会の開催やフェアへの参加など積極的に行い，高校生，中学生の生徒・保護者へのPRを徹底する。個別対応を常に行える状況を整える。	年間を通して実施していく。

校務分掌	取組目標項目	具体的取り組み方策	取組スケジュール
管理運営 (事務)	教育環境の整備	生徒数の増加に伴い，次の必要な教育環境を整備していく。 ①転入学事務，個々の生徒の単位取得手続き，必要な学習支援の決定，学納金納付等の一連の事務処理が適切に行えるよう検証し，実施する。 ②全日制課程施設の利用など，学習施設整備を計画，実施する。	1年間継続して取り組む。